



ほほえみ

大竹市社協だより

2024.9.1
(令和6年9月1日)

第207号



7月開催の

7月23日(火) 玖波公民館

「夏の宿題会」

玖波1丁目・西念寺にて



7月24日(水) 小方2丁目 西念寺



ふれあいネットワーク



この広報紙は共同募金（赤い羽根）配分金を受けて発行しています。

大竹さつき作業所・アイビー作業所

『ぷらっとほーむ』

◎防災訓練、災害発生時の体験を実施しました◎

防災訓練では、火災発生を想定しながら、避難をすることで、日頃からの心構えや防火の意識を高めることが出来ました。また災害に備えて準備しておく物などについて学びました。

災害発生時の体験として、「ポリ袋で作るカレーライス」をみんなで作りました。お米は非常用保存食「アルファ化米」を使用しました。

完成したカレーは、日頃食べているカレーと異なる食感・味でしたが、限られた水、材料を使い、湯せんで作ることができることを知り、いざという時の備えとして貴重な体験となりました。



就労継続支援B型事業所

大竹さつき作業所

☎739-0624

TEL (0827) 57-3935

大竹市御園2丁目11-1

就労継続支援B型事業所

アイビー作業所

TEL (0827) 35-6655

FAX:(0827)35-5758 (共通)

おおたけししょう

しゃそうだんしえん

大竹市障がい者相談支援センター

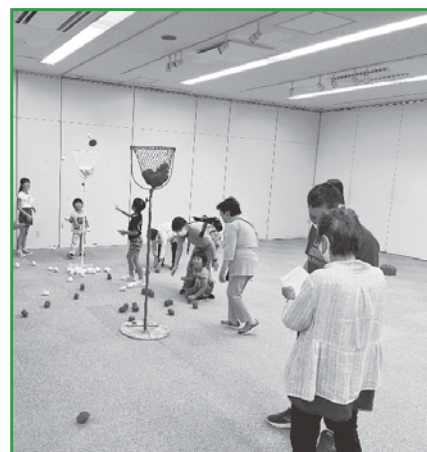
市制施行70周年記念事業

障がい児・者『みんなのスポーツ体験』

7月21日(日)にギャラリーおおたけ(市立図書館)で、大竹市総合型地域スポーツクラブと大竹市社会福祉協議会が主催の、障がい児・者『みんなのスポーツ体験』を行いました。当日は21名の方が参加され、ストラックアウト、輪投げ、モルック、フライングディスク、玉入れを楽しんでいました。

中にはうまくいかずにくやしくて涙を流しながらも一生懸命に取り組まれる方もいました。初めての試みでしたが、皆さん思いおもいに競技に取り組まれ、笑顔で楽しんでいたのがとても印象的でした。

今年度中に再度実施する予定ですので、その際はご参加お待ちしております。



玉入れの様子

問い合わせ・ご相談

☎739-0603

TEL (0827)52-0167

大竹市西栄2-4-1 (大竹市総合福祉センター サントピア大竹 1階 地域福祉課)

FAX:53-8122 E-mail: soudan@otake-shakyo.or.jp

第49回 広島県知的障害者福祉大会 廿日市・大竹大会
第22回 はつらつ大会（本人大会） 廿日市・大竹大会

廿日市市・おおの・
大竹市手をつなぐ
育成会、共催

〈大会テーマ〉 つながろう ひろげよう 手と手をつなぐ “絆”の輪を!!

〈場 所〉 廿日市市文化ホール ウッドワンさくらぴあ

〈日 時〉 令和6年11月17日(日) 10時～15時半



知的障害者福祉大会 午前 シンポジウム 午後 金澤泰子さん講演会(金澤翔子さん同伴)
はつらつ大会(本人大会) 午前 災害の勉強会 午後 行政との話し合い / 音楽鑑賞 / 楽しいアトラクション

☆どなたでも参加出来ます☆

知的・発達に障害のある人とその家族、福祉サービス事業所・学校・関係行政機関・
民生委員児童委員及びボランティアなど福祉に関心のある人達

一般の方・一般会員	1,800円	(資料・弁当有)	資料のみ	1,000円
本人会員・本人支援者	1,500円	(資料・弁当有)	資料のみ	700円

この大会は自治体の枠を超えた障害者の様々な現状を語り合い共有することで、お互いの力を高めあうための大会、また、障害者本人たちによる本人たちのための大会とし、本人の主体性を尊重し、絆が広がる機会になることを目指しています。

問い合わせ ～～大竹市手をつなぐ育成会～～ TEL 080-5611-0358(尾池会長)

子育てサロン 「すこやか」

子育て中のお母さんたちにスペースを開放しています

日 時 毎週水曜日 10:00～12:00

場 所 サントピア大竹2F 和室

対 象 子育て中のお母さんと乳幼児



毎月 第3水曜日 10:30～12:00に

親・子・地域を結ぶ子育て支援活動をしている
ボランティアグループ「おむすび」のキャリア
コンサルタントが来てくれています。

ちょっとした出来事や、モヤモヤなどを話して
リフレッシュ♪



11月6日(水)は
ペーパーシアター
がやってくる

みんなで たね五房さんの
ペーパーシアターを楽しもう



問い合わせ

地域福祉課 地域福祉係

TEL (0827)52-2275



春島 葉々望
(ななみん)

①社協のイメージについて

実習に来るまでは、サロン活動や相談業務などとぼんやりとしたイメージしかできなかった。今では様々な活動に参加させて頂きお話を聞いて学べた事から業務内容が良く分かった。

②印象に残ったエピソードについて

「さつき作業所」の利用者さんたちと初めはあまり話せなかったが顔を合わせる回数が増えるごとに信頼関係が出来ていき仲良くなっていったこと。

③終わった感想

職員さん同士の仲がいいこと。住民さんからも頼りにされていること。

優しくて話しかけやすい雰囲気をお持ちの職員さんが多い。

住民の方に親しまれていて出入りしやすい環境

④今後について

人と関わる楽しさを実感できた、社会福祉士の資格を取得していかせる職に就きたい。



①社協のイメージについて

地域の困りごとを解決していく機関

②印象に残ったエピソードについて

サロンに参加し、自身で考えたレクリエーションを行った時に参加者に褒めて頂き「また来てね」と言われた時が達成感がありやりがいを感じた。

③終わった感想

職員さんが住民の方との顔見知りが多く仲が良い。地域の頼れる存在

④今後について

地元に戻っても沢山の行事に参加し、地域の良いところと、困りごとを見つけていきたい。



林 旺佑
(おーちゃん)

これからの福祉を担っていく貴重な存在のみなさん!これからもたくさんの経験を積みながら、家族や仲間たち、自分自身を大切にしながら頑張ってください。
そして、みなさんの国家試験合格の報告を社協職員一同、心よりお待ちしております。

実習指導者からのエール

6月17日から岡山県にある新見公立大学地域福祉学科3年生3名。6月24日から広島福祉専門学校社会福祉学科4年生2名の実習を受け入れました。28日間という実習期間でしたが実習生同士で力を合わせ約1カ月という長い実習期間を乗り越える事ができました。

またいつの日か福祉の現場で会えるのを楽しみにしています。がんばれ!福祉ヒーローズ!!



プロジェクト ～社協の挑戦～

未来の福祉ワーカーに きいてみた!

今年も大竹市社会福祉協議会に、フレッシュな大学生たちが実習にやってきました。約1か月の実習を終え、学んだことや感じたこと、福祉の仕事についての魅力など、みなさんに突撃インタビューをしました。

実習生に聞いた4つの質問

- ① 社協のイメージについて
- ② 印象に残ったエピソードについて
- ③ 終わった感想
- ④ 今後について



西尾美咲
(みさき)

①社協のイメージについて

地域にとって必要な場所だが、何をしているのか分からない
地域活動をしている人だけが利用する場所

②印象に残ったエピソードについて

フリースペースで遊んだ子どもと別の集会所で偶然会ったとき、向こうから「あの時の先生だ!」と言ってもらえたこと。自分のことを覚えていてくれていると嬉しかった。

③終わった感想

関わった地域住民のほとんどが、自分が今住んでいる地域をもっと良くしていこうと前向きに活動しており魅力的だった。人を元気にするのは人なのだと身をもって感じ、人との繋がりを大切にしていこうと感じた。

④今後について

将来は、精神保健福祉士として精神科病院で働きたいと思っている。今回の実習で、地域で暮らしていく大切さ、生きがいの必要性について学ぶことができた。このことを活かし、精神保健に課題のある人たちが地域で安心して暮らしていけるような支援方法について考えを深めていきたい。

①社協のイメージについて

市役所のように堅苦しいイメージ ・困ったら相談に行ける場所
多職種連携、内部連携がしっかり構築

②印象に残ったエピソードについて

サロンやマップ会議等で地域住民の方々の中に社協職員が溶け込んでおり、地域住民の方々から気になっている方の情報や困りごと等の相談がしやすい環境であることと、地域住民の方々の地域に対する誇りを胸に活動されている姿を見て感動した。

③終わった感想

社協の実習を通して、地域のことを知るためには、まず地域についての理解を深めるとともに愛着を持つことで、地域特性や住民特性、地域課題等が見えてくると感じた。地域アセスメントを行ったが、地域を回ることによってどこに何があるのか知ることができ、支援をしていくうえで地域住民の方々がどんな地域で暮らしているのかを理解する大切さを学んだ。

④今後について

将来社協にて就職したいと考えているため、学んだことを活かしていきたい。



吉田 空
(よっしー)

こんにちは！大竹市地域包括支援センターです。



残暑の厳しい日が続いていますが、体調にお変わりはないでしょうか？適度な休息と水分補給を心がけ、実りの秋を元気に迎えましょう。

「第11回介護川柳」を募集します！！

11月11日は「介護の日」(厚生労働省が平成20年に制定)です。

恒例となりました介護川柳も、今年で十一年目を迎えます。毎日の生活のできごとや感じたこと、介護を通して感動したことや感謝の気持ちを川柳に表してみませんか？

【募集期間】 令和6年9月2日(月)～9月30日(月)

消印有効

【応募方法】

所定の作品応募用紙が官製はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号・作品を記入し、大竹市地域包括支援センターに郵送もしくは持参してください。

お一人2句まで、自作で未発表のものに限りです。

応募用紙はサントピア大竹、市内各公民館、おがたピア、各コミュニティサロン、総合市民会館、図書館、市内各郵便局、大竹市役所地域介護課にあります。

※応募箱の設置は行いません。

【部門】

◎一般部門 ◎こども部門

【表彰・展示】

入賞 各部門10句 入賞作品は「ほほえみ」11月号に掲載します。入賞作品は、サントピア大竹館内に、

令和6年11月1日(金)～11月29日(金)まで展示します。

【その他】

応募作品の著作権は大竹市地域包括支援センターに帰属し、返却しません。また、個人情報に関しましては、入賞者の連絡のみに使用します。

【応募先】

大竹市地域包括支援センター

〒739-0603

大竹市西栄2丁目4番1号

「ひきこもり・不登校の理解を深める座談会」を行いました

7月28日(日)、ひきこもり・不登校の方やその家族の方、過去に保護者として悩まれた方などが集まり、小グループに分かれて、日頃の思いを語りました。

今後も、さまざまな活動を通して、ひきこもり・不登校への理解が広がれば、と思っています。



放課後等デイサービス IRISAの山田代表の他、複数のサポートメンバーに参加していただきました(*^_^*)

参加者の声

- ・優しく考えてくださる方が、たくさんいることが知れたので良かったです。
- ・同じような経験をされた方とお話できたので、心が軽くなりました。



【相談・問い合わせ】

総務課 よりそいサポートセンター

TEL (0827)35-5300 E-mail yoriso@otake-shakyo.or.jp

今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動が全国で始まります

じぶんの町をよくするしくみ… **赤い羽根共同募金**



共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」として、取り組まれています。

『令和5年度大竹市共同募金委員会 収支決算書』

＜収入＞ (単位:円)		＜支出＞ (単位:円)	
募 金 収 入	4,425,365	県共募送金支出	4,425,365
事 務 費 収 入	390,000	事 務 費	390,000
収入合計	4,815,365	収入合計	4,815,365

令和5年度に皆様からお預かりした募金総額は4,425,365円でした。

全額を広島県共同募金会へ送金致しました。

＜令和5年度広島県共同募金会からの配分金＞

(単位:円)

	配分内訳	配分額
地 域 配 分	※13団体への配分金	2,687,464
特 別 配 分	地域サロン等	800,000
	子育てサロン等	200,000
	居場所づくり	300,000
	災害ボランティア	50,000
合 計		4,037,464

＜※配分先の13団体＞

大竹市母子寡婦福祉連合会
大竹市身体障害者福祉協会
大竹市視覚障害者福祉協会
大竹市手をつなぐ育成会
大竹市献血推進協議会
大竹地区保護司会
大竹市老人クラブ連合会
大竹市防犯連合会
大竹市自治会連合会
大竹市聴覚障害者防災連絡協議会
大竹さつき作業所
アイビー作業所
大竹市社会福祉協議会

＜令和6年度 赤い羽根共同募金目標額＞

目 標 総 額	6,200,000 円
---------	-------------

＜目標額内訳＞

募金区分	募金目標額
戸 別 募 金	4,500,000 円
街 頭 募 金	80,000 円
法 人 募 金	1,300,000 円
学 校 募 金	80,000 円
職 域 募 金	200,000 円
イベント募金	40,000 円
合 計	6,200,000 円

問い合わせ先 大竹市共同募金委員会事務局 (大竹市社会福祉協議会 総務課) 53-8120

あたたかいご寄付 ありがとうございます

令和6年6月1日から
令和6年7月31日まで

皆様からいただいたご寄付は、福祉のまちづくりのために、有効に活用させていただきます。

ここに、ご芳名を掲載させていただきます。また、ご寄付の金額表示につきましては、ご寄付者のご意向によるものです。

◆香典返しにかえて

金一封 父 正満 河内保則 本町2

〃 養 村三三 山口 登 木野2

〃 夫 俊彦 岡野富枝 黒川2

〃 夫 晴都 中川照子 白石2

〃 妻 美恵子 黒田雅生 晴海1

〃 長男 信行 圓福智子 阿多田

一万円 夫 仁寿雄 竹田弥生 湯舟町

◆一般寄付

金一封 匿名 東南アジアの子どもを

就学させるため

〃 故人 中川正夫 本町2

〃 匿名

◆物品寄付

・マスク1ケース(7枚入×2200袋)

・食料品(7月28日 フリーマーケット)

・売り上げ 7千792円分

・東栄1丁目自治会



《合計金額 10件 24万9千881円》

大竹ふれあい健康・福祉まつり

今年も開催します!!



内 容 (予定) 各種測定コーナー、パネル展示、
人権啓発コーナー、ボランティア体験、
福祉展コーナー、作品展コーナー、
スーパーボールすくい、
おもちゃ釣りコーナー など

日 時 令和6年10月27日(日)
9:30~15:30
場 所 サントピア大竹



令和5年度ガイドヘルプ体験の様子

学 習 会

事業名	と き	時 間
手話「さつき」	毎月第2・4火曜日	19時00分～20時30分
手話「ママとKAMEの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分～12時00分
手話「ぼぼんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分～12時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第4土曜日(勉強会)	9時30分～13時30分 13時30分～15時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日	10時00分～12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分～15時00分

定 例 的 な 事 業

事業名	と き	時 間	内 容
子育てサロン「すこやか」	毎週水曜日	10時00分～12時00分	親子同士がふれあう憩いの場です。
子育て相談	毎月第3水曜日	10時30分～12時00分	キャリアコンサルタントがワークライフバランスについてお話を伺います。
認知症の人との集い「やすらぎの家」	第2、4水曜日	10時00分～15時00分	認知症の人が集う憩いの場です。
サークル「青空」	毎月第1木曜日	10時00分～12時00分	心の病気をもちの方が一緒に過ごす憩いの場です。
サークル「憩い」	毎月第4木曜日	10時00分～14時00分	精神障がいをお持ちの方が楽しく集える場所です。
ひきこもり支援定例会	毎月第4火曜日	10時00分～11時30分	ひきこもりについての情報交換、つながりの場です。

相 談 窓 口

事業名	と き	時 間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日	13時00分～16時00分
よりそいサポートセンター	月～金(祝日休み)	9時00分～17時00分
障がい者相談支援センター	月～金(祝日休み)	8時30分～17時15分
地域包括支援センター	月～金(祝日休み)	8時30分～17時15分

編 集 後 記

猛暑危険日が続き、毎日のように熱中症で多くの方が搬送されたニュースが流れています。他県では、豪雨災害で大変な事態になっています。地球が変化しているのでしょうか。子どもたちも夏休みになって各地区でのイベントに参加して、楽しそうでした。まだまだ、残暑は続きそうです。体が体調には、十分気を付けて困ったことがあれば社会福祉協議会(サントピア)に相談して乗り切りましょう。

10月からは、赤い羽根共同募金運動が始まります。ご協力をお願いします。

申込み・問い合わせはいつでも

大竹市社会福祉協議会

TEL 52-2211 FAX 53-8122

編集発行: 大竹市社会福祉協議会(大竹市西栄二丁目4番1号 大竹市総合福祉センター[サントピア大竹]内)

メールアドレス <info@otake-shakyo.or.jp> ホームページ <http://www.otake-shakyo.or.jp/>